

『真光寺川 里親の会』通信

2月号 一通算第119号

2011年2月13日

1月例会：片平川を散策しました！

幸 い、当日は快晴に恵まれ風もなく穏やかな一日でした。参加者は10名、午前10時、小田急線柿生駅に集合し行動開始。

はじめに、駅前を通り抜け小田急線とクロスする麻生川に出る。左手の下流は一級河川、右手の上流は準河川と表記されている。私たちは上流に沿って歩きながら片平川を探索することにした。世田谷街道を横断して川筋に出てしばらく歩くと、麻生川と合流地点にさしかかる。今回は左手の片平川を散策した。



片平川を歩く

散 策道の左手には未開発の森がところどころに残り自然を感じさせる風景である。適当な間隔で橋が掛っているが何故か、名称が無く記録しにくい。程なく歩くと「ちゅうおう橋」と命名されている。どうやら車の通る道路と交差している橋にのみ命名しているようだ。ここから左折し丘を登ると平和台に抜ける道である。

橋を渡り上流に歩くと桜の木の際に「仲堰跡」と記載された記念碑を見つける。どうやら、この辺りが改修前の片平川が流れていた場所で堰があった場所と思われる。片平川の歩道は「柿生の峰散策道」として市民に親しまれているようだ。乳母車で温かい日差しを浴びて散歩する親子の姿を見て、ホットする。右手には本日の昼食をする「栗平の湯」があるが散策は未だ続く。



栗木御嶽神社にて

し ばらく歩くと「金井原堰跡」の記念碑を見つける。すぐ先が常念寺である。近代的なコンクリートの建物である、しかし墓は田舎風でありホットした。片平川は常念寺の横で暗渠になり姿を隠す。どうやら、ここからは本来流れていた川に蓋をして歩道にしているようだ。周りにはテニスコートがあり多くの人たちが楽しんでいる。

結 局、片平川の源流を確かめることはできなかった。どうやら、常念寺の裏手の丘、そして桐光学園が建っている丘あたりから湧き出した水や雨水が集まり片平川に流れ込んでいたのではなかろうか。

帰りに栗木御嶽神社により参拝し今年の無事を祈って記念写真を撮る。常念寺を通り抜け12時に栗平の湯に到着する。早速、温泉に浸り冷えた体を温める。湯あがりにビールで乾杯し歓談し14時に解散し三々五々帰路に着く。



栗平の湯、新年会も兼ねて乾杯！

全 体の印象として、
・片平川は真光寺川と比べて流域が広い
・水は汚く、ゴミが多く清掃はしていないようだ
・川の周辺の開発は雑然として落ち着かない風情である

都会の中小河川を自然の姿を残し人の生活と調和させることの難しさを感じた1日でした。

(文：生江 透)

「川の風景」 寒い日が続いていますが、日中、暖かい日差しの下で真光寺川を散策する人を多く見かけます。雨らしい雨が1ヶ月以上も降っていないため川底にヘドロが増えて、その上水温が低いせいか、あるいは小魚の大量死の影響か、すっかり小魚が見えなくなったとの情報が寄せられています。さみしい限りです。そのせいか鳥たちも少なめで、何を食べて冬を過ごしているのか心配にもなります。春よ来い、早く来い！ 小魚が遊ぶ姿がまた見たいものです。春を待つ生き物の情報をぜひお寄せください。(黒田)

「市民協働フェスティバル・まちカフェ！」で展示と事例発表

1月30日（日）、市民フォーラムにおいて、地域の絆を強め地域活動を活発にすることをねらいとして開催されました。フォーラムは“まちカフェ！”を楽しむ市民・親子連れで終日大変なにぎわいでした。実行委員会からの要請で展示とシンポジウムの事例発表に積極的に参画しました。



発表する山口会長

展 示：3Fに、会の活動、鶴三小のゴミフェスタでの発表、和光鶴小の真光寺川風物の詩と版画・真光寺川カルタ等を20m余りの壁面一杯に、4Fに、会の活動、和光鶴小の真光寺川研究等を10m余りわたって展示しました。子供たちの力のこもった作品に、多くの来場者が感心して見入っていました。

事 例発表：「市民協働と地域活動の関わりあい」というシンポジウムの一環として、他の二団体と共に、「子供たちが遊べる清流をめざして」というテーマで発表しました。パネラーは鷺北副市長、牛山明大教授、鈴木福祉推進課長でした。20分という限られた時間でしたが、「活動のきっかけ」「活動の概要」「行政・地域との協働」「課題と展望」等につき報告しました。特に昨年のコイや小魚の大量死というアクシデントを通じて行政・地域との協働の必要を痛感したことを強調したつもりです。地元の町内会長や地域の方々から応援に駆けつけて下さいました。この催しを通じて地域の方々との絆が一層強くなったことは嬉しいことでした。
(文：山口 拓郎)

12月28日の魚の大量死について行政と協議。原因は塩素系物質。

先月号で昨年暮れ12月28日に小魚の大量死が発生したことをお伝えしましたが、年が明け1月12日に市の環境保全課を訪ね、その原因と今後の対応について協議しました。当日環境保全課が行った水質検査によると、2ppm以上の残留塩素（水道水は0.1～1ppm以下）が検出され、事業者が消毒剤や漂白剤などを流下させた疑いが濃いとのことでした。この程度の塩素濃度でも体の小さな小魚には影響が大きく、市の公園緑地課が回収したのものだけでも魚の死がいはいは土のう袋で5袋に達し、大量の魚が死んでしまいました。環境保全課では塩素が原因と推定されることから、上流地域で塩素系物質を使いそうな病院など13事業者に電話で事情を聴取したが原因先を特定するに至らなかったとのこと。

今後は範囲を拡大して原因事業者を調査することや塩素系物質を雨水として流さないよう事業者に徹底する方法などを協議しました。これからも安全で親しめる川を取り戻すためひきつづき行政と協議・協働していきます。
(文：黒田 健夫)

「めだかポスト」

郵便振替で広袴3丁目の石川由紀枝様からのご寄付、本町田の戸村公子様からのご寄付、その他一木会やめだかポストへのご寄付を合算して1月は合計10,832円でした。里親の会の活動に対して皆さまのご厚志に感謝いたします。

ご厚志を頂くに当って、ご負担をかけない様に「印字済払込取扱票」をポスト脇のファイルに入れてあります。「赤インク印字の払込取扱票」をご利用頂ければ、手数料無料でお振込みが出来ます。またなるべくATMでの振込みをご利用ください。どうかよろしくお願いいたします。

郵便振替 『00150-4-574114』

加入者名 『真光寺川里親の会』

3月の清掃日は13日（第2日曜日）です、一緒に川をきれいにしませんか・・

☆ スケジュール 9:30 下堰親水場（下堰橋下流） 集合

09:30 開戸親水場～神明橋間の清掃

11:30 打ち合わせ（「いちょう会館」）

12:30 解散予定

『<http://www.shinkojigawa.com/>』 ホームページへご意見感想をお寄せ下さい

『真光寺川 里親の会』会長：山口 拓郎 町田市鶴川1-10-13 TEL/Fax 042-735-0382

事務局：町田市広袴3-24-11 山本隆治 TEL/Fax 042-736-0214 e-mail ryuji.yamamoto@beach.ocn.ne.jp